

## 小2国語 出題のねらいと対策

### 1 漢字の読みとり 90.7%

**ねらい**：漢字の読み方についての知識を問う。

**分析と対策**：一年生の復習です。(3)は「学校から帰ること」という意味も確認しておきましょう。

### 2 漢字の書きとり 91.3%

**ねらい**：漢字の書き方についての知識を問う。

**分析と対策**：一年生の復習です。字の形に注意しましょう。(1)「玉」の縦画は1画目と4画目の横画から突き出ないこと、(2)「千」の1画目のはらいの向き、(3)「人」と「入」の形のちがいなどに注意しましょう。

### 3 ことばのきまり 88.5%

**ねらい**：助詞についての知識を問う。

**分析と対策**：「が・を・の・へ」など、文脈に合う適切な助詞を補えるかを問う問題です。「なにの」「なにが」「なにを」などのことばの役割を理解するとともに、「へ」「を」は、「え」「お」と発音は同じで表記が異なることに気づきましょう。また、助詞を間違えると、文の意味が変わったり、文が成立しなくなったりすることがあるので、助詞の使い方には注意を払うようにしましょう。

### 4 文をつくる 96.5%

**ねらい**：正しい文のつくりについて問う。

**分析と対策**：文の内容を読みとった上で意味が通るような適切なことばを当てはめることができるかを問う問題です。

文の流れに沿って適切なことばを入れることができているかどうか、確認してください。

### 5 文しょうをよむ 60.3%

**ねらい**：物語の場面や、登場人物の人物像、心情の読解や、文章の細部の内容を読み取る力を問う。

**分析と対策**：いのししばあちゃんが、まごのうりんぼから「赤んぼが生まれる」という手紙をもらってうれしくて張り切る場面をえがいた文章です。物語の場面の季節の把握が(1)で問われます。「毛糸を買いに行く」「柿の実」「木の葉が～まいちる」などの部分から、物語の場面が秋から冬へ向かう時期であることが読み取れます。また、登場人物の関係性の理解が(2)(4)で問われます。文章の中に実際に登場するのはいのししばあちゃん・やぎのゆうびんやさん・からすだけで、まごと赤んぼは、ばあちゃんの話にしか出てきません。物語に出てこない人物を想像して内容の理解を補うことに注意しましょう。まごに赤んぼが生まれる、つまりいのししばあちゃんがひいばあちゃんになるという、生まれる赤んぼ、まご、ばあちゃんという親族の関係性と名称も確認しておきましょう。手紙を読んだいのししばあちゃんの心情の理解が(3)(5)で、行動の目的の理解が(6)で問われています。

全体の平均点は 82.4点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。  
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。